



# 品川区議会だより

No.261 平成29年(2017年)4月27日 発行 品川区議会 (〒140-8715) 東京都品川区広町2丁目1番36号 電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895  
品川区議会のホームページアドレス <http://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



昨年の議会報告会の様子

## 第2回議会報告会を 開催します！

● あなたの「もっと知りたい！」に  
直接お応えします。

品川区議会

### 未来を語ろう

@ 議会報告会

来て見て聴いて、  
議員とともに区政を語りましょう。

あなたの「もっと知りたい！」に  
直接お応えします。

**5月13日** ±  
午後3:00～午後5:00  
開場：午後2:30  
きゅりあん7F  
イベントホール

● 議会のしくみ  
● 議会改革の取り組み  
● 委員会報告

● 身近な防災について

主催：品川区議会  
問合せ：区議会事務局 Tel.03-5742-6808 Fax03-5742-6895

● 来て見て聴いて、議員とともに  
区政を語りましょう。

日時／平成29年5月13日(土)午後3:00～午後5:00 (開場／午後2:30)  
内容／● 議会のしくみ ● 議会改革の取り組み  
● 委員会報告 ● 意見交換会 テーマ「身近な防災について」  
会場／きゅりあん7階 イベントホール  
☆ 入場無料(途中入退場可) ☆ 当日、直接会場にお越しください  
☆ 手話通訳・要約筆記・保育スペースあり

### 平成29年 第1回定例会 2/22～3/28

- 平成29年第1回定例会の議案 … 1～2
- 区政をきく(代表質問) …… 3～5
- 議員研修会を開催しました …… 4
- 区政をきく(一般質問) …… 5～9
- 本会議・委員会の日程(予定) …… 5
- 請願・陳情の結果 …… 10
- 意見の分かれた議案 …… 10
- 全国の地方議会が品川区を視察 …… 10
- 予算審査のあらまし …… 11
- 平成29年度予算に対する各会派の意見表明 12

### 第1回定例会の議案

平成29年第1回定例会は、2月22日から3月28日までの35日間の会期で開催されました。区長から、「情報公開・個人情報保護条例(一部改正)」などの議案が提出されました。慎重審議の結果、次のとおり可決されました。以下、概要をお知らせします。

### 区長提案

#### 条例(一部改正)

#### ▼情報公開・個人情報保護条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、情報提供等の記録を訂正した場合の通知について定める。

施行期日 平成29年5月30日

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律「に基づき、同法で規定された事務以外の新たな事務等を個人番号の利用範囲に追加する。

施行期日 平成29年4月1日

▼職員定数条例  
行財政の見直しに伴い、職員の定数管理上の措置を行う。

施行期日 平成29年4月1日

▼一般職の任期付職員に関する条例  
一般職の任期付職員に関し、

#### ▼職員配偶者同行休業に関する条例

職員の配偶者同行休業に関する条例は、期間の再度の延長ができる特別の事情を定める。

施行期日 平成29年4月1日

▼職員の育児休業等に関する条例  
育児を行う職員に係る深夜勤務等の制限の対象となる子の範囲を見直すほか、親族等の介護を行う職員に係る超過勤務の制限等を定める。

施行期日 平成29年4月1日

▼一般職の任期付職員に関する条例  
一般職の任期付職員に関し、

施行期日 平成29年4月1日

▼一般職の任期付職員に関する条例  
一般職の任期付職員に関し、

施行期日 平成29年4月1日

一定の期間内に終了することが見込まれる業務等に従事する職員を採用する制度を導入する。

▼非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例  
非常勤職員の任用形態の多様化を図るため、非常勤職員に係る種別の区分を見直す。

▼職員給与に関する条例  
勤労手当の支給月数に係る各期別の割振りを改める。

▼再任用職員以外の職員の場合  
6月期 0.85月↓0.90月  
12月期 0.95月↓0.90月

▼中小企業事業資金融資あっせん条例  
新たに「事業承継支援資金」を設置するとともに、「団体事業資金」および「事業活性化資金」の融資限度額を引き上げるほか、「転業資金」を廃止する。

(1) 事業承継支援資金  
〔融資限度額〕 2千万円  
〔融資期間〕 最長7年間

(2) 団体事業資金  
〔現行〕 3千万円  
〔改正後〕 3千万円

(3) 事業活性化資金  
〔現行〕 3千万円  
〔改正後〕 4千万円

▼保育の実施等に関する条例  
児童福祉法が改正されたことに伴い、規定を整備する。

▼私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例

児童福祉法が改正されたことに伴い、規定を整備する。

▼社会福祉基金条例  
社会福祉基金のうち高齢者用善意社会福祉基金を廃止する。

▼区立在宅サービスセンター条例  
介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスを提供する。

▼指定地域密着型サービスの基準等に関する条例  
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、小規模多機能型居宅介護の事業における従業者の員数に関する基準を改める。

▼指定地域密着型サービスの基準等に関する条例  
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例

▼区立幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例  
育児を行う幼稚園教育職員に係る深夜勤務等の制限の対象となる子の範囲を見直すほか、親族等の介護を行う幼稚園教育職員に係る超過勤務の制限等を定める。

▼幼稚園教育職員の給与に関する条例  
勤労手当の支給月数に係る各期別の割振りを改める。

▼国民健康保険条例に所要の改正を行う。  
国民健康保険料の基礎賦課額、後期高齢者支援助金等賦課額および介護納付金賦課額の保険料率を改める。

▼勝島運河雨水貯留施設建設工事その2(池上通り取水管等整備)請負契約の変更について  
契約金額の変更について(変更前) 2億9千73万6千円 (変更後) 3億7千54万8千円

▼平成28年度一般会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 4億7千640万6千円減額 (補正後の歳入歳出予算額 1千707億5千320万4千円)

(2) 繰越明許費 6件  
(3) 債務負担行為補正件数 20件

追加工件 20件  
追加 20件  
変更 2件

所得割 100分の1.35  
均等割 1万1千100円

この位置付けを廃止する。

▼手数料条例  
建築物エネルギー消費性能確保計画に係る適合性判定等に関する手数料を新設する。

(1) 非住宅部分の用途が工場等のみのもの  
床面積300㎡以上2千㎡未満のもの 2万7千100円

(2) それ以外の非住宅部分  
床面積300㎡以上2千㎡未満のもの 14万5千700円

▼対象区域における特定工場の緑地面積率等に関する条例  
工場立地法が改正されたことに伴い、規定を整備する。

▼区立幼稚園条例  
児童福祉法が改正されたことに伴い、規定を整備する。

▼国民健康保険条例に所要の改正を行う。  
国民健康保険料の基礎賦課額、後期高齢者支援助金等賦課額および介護納付金賦課額の保険料率を改める。

▼勝島運河雨水貯留施設建設工事その2(池上通り取水管等整備)請負契約の変更について  
契約金額の変更について(変更前) 2億9千73万6千円 (変更後) 3億7千54万8千円

▼平成28年度一般会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 4億7千640万6千円減額 (補正後の歳入歳出予算額 1千707億5千320万4千円)

(2) 繰越明許費 6件  
(3) 債務負担行為補正件数 20件

追加工件 20件  
追加 20件  
変更 2件

所得割 100分の1.96  
均等割 1万800円

所得割 100分の1.35  
均等割 1万1千100円

契約

▼しながわ区民公園中央ゾーン(西側)改修工事請負契約  
契約の方法 制限付き一般競争入札による契約  
争入札による契約  
契約金額 5億3千136万円  
契約の相手方 日比谷・大森建設共同企業体  
工期 契約締結の日の翌日  
平成30年3月30日

▼勝島運河雨水貯留施設建設工事その2(池上通り取水管等整備)請負契約の変更について  
契約金額の変更について(変更前) 2億9千73万6千円 (変更後) 3億7千54万8千円

▼平成28年度一般会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 4億7千640万6千円減額 (補正後の歳入歳出予算額 1千707億5千320万4千円)

(2) 繰越明許費 6件  
(3) 債務負担行為補正件数 20件

追加工件 20件  
追加 20件  
変更 2件

所得割 100分の2.02  
均等割 1万800円

所得割 100分の1.96  
均等割 1万1千100円

所得割 100分の1.35  
均等割 1万1千100円

所得割 100分の1.35  
均等割 1万1千100円

▼平成28年度国民健康保険事業会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 2千862万円減額 (補正後の歳入歳出予算額 445億4千567万4千円)

▼平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 1億1千22万2千円追加 (補正後の歳入歳出予算額 77億4千835万3千円)

▼平成28年度介護保険特別会計補正予算  
(1) 歳入歳出予算補正額 2億269万6千円追加 (補正後の歳入歳出予算額 238億8千804万2千円)

▼平成29年度一般会計予算  
(1) 歳入歳出予算額 1千645億3千600万円  
(2) 債務負担行為 29件  
(3) 一時借入金 最高額 50億円

▼平成29年度国民健康保険事業会計予算  
(1) 歳入歳出予算額 442億6千982万円

▼平成29年度後期高齢者医療特別会計予算  
(1) 歳入歳出予算額 79億3千271万1千円

▼平成29年度介護保険特別会計予算  
(1) 歳入歳出予算額 249億3千941万8千円

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条の規定により、次の者を教育委員会教育長に任命することに同意した。  
中島 豊氏

教育委員会教育長の任命同意

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条の規定により、次の者を教育委員会教育長に任命することに同意した。  
中島 豊氏

議案・委員会資料はホームページでもご覧いただけます

品川区議会は開かれた議会をめざし、議会からの情報発信の充実に努めております。

平成29年第1回定例会より、議案および委員会資料をホームページでもご覧いただけるようになりました。

ぜひご利用下さい。



※議案等はすべてPDFファイルで掲載しています。

品川区議会

検索

代表質問

# 区政をきく

## (代表質問・一般質問)

平成29年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、9名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。



### 平成29年施政方針について



鈴木 真澄 議員 (自・未)

①観光大使に任命したサンリオキャラクターのシナモールにどう活躍してもらうのか。②外国人観光客を誘致するための情報発信のあり方は、

③水辺事業の推進にあたり、船からの景観という視点を加えては。④まち歩き観光をどう充実させていくのか。⑤東京オリンピック・パラリンピックについて⑦各国のホスピタリティハウス誘致に向けた検討を。①選手団の事前キャンプの誘致を進めては。⑥児童相談所設置に向けた区のスケジュールは。⑦医療的ケアを必要とする子どもの保育について、どう検討しているのか。⑧子どもの貧困について⑦2年生と9年生を対象に行った調査では、生活状況はどうだったのか。①子ども食堂をどう推進していくのか。⑨コミュニティ・スクールのコーディネートについて⑦教員などのように連携しているのか。①すまいるスクールに参加し、事業運営を担っては、

⑩東芝病院の売却について、今後の見直しは。①地域防災計画を見直す際、受援計画等の検討が必要では。②災害時における医師や病院との連携の現状は。③木造住宅密集地域の火災対策の方向性は。④無電柱化に対する考えは。⑤地域包括ケアについて⑦地域の方の理解をさらに深めていく必要があるのでは。①医療から介護へどうつなげていくのか。②認知症に対する正しい理解を、どのようにして地域に啓発していくのか。③医療連携型の認知症カフェとは。④介護する家族の就労継続への支援に効果的な介護サービスのあり方は。⑤介護サービスの支出が増加していく中、今後の介護保険財政をどう考えているのか。

①様々なPRやイベントで活用する。②3D映像等の先端技術やSNSを活用し、効果的に発信していく。③目黒川の4つの橋のライトアップは好評をいただいております。今後、景観の視点を加えて、検討していく。④新たな観光資源を発掘し、さらに拡充していく。⑤区内に大使館のある国や交流都市等の誘致に取り組む。⑥ブラジルのブラインドサッカーについて、覚書の調印に向け調整している。子ども未来部長 ⑥国は5年間を目標に整備を支援するとしており、区は心理職の採用や職員の派遣研修等を進めていく。⑦医療・療育機関と連携し、集団保育での受け入れを検討していく。⑧アヒと親家庭の4割が、大学等への進学は経済的に厳しいと回答している。①開設に向けた

ネットワークを構築していく。教育長 ⑨7休み時間や放課後を活用し、スムーズな連携が図られている。①すまいるスクール運営協議会にコーディネーターが参加している。健康推進部長 ⑩東芝本社からは、売却について正式な発表はされていない。災害対策担当部長 ①受援体制を明確にすることは重要なことと考えている。②医療救護所への医師の派遣等、幅広い連携が定められている。③不燃化特区の支援対象拡大を図る。④都の財政的・技術的支援の動きに注視していく。福祉部長 ⑤各地区でワークショップを開催し、理解を深めていく。①高齢者情報を一元管理し、多職種が情報共有できるようシステム開発する。⑥品川ぐるみ認知症ファイドの配布やホームページへの掲載等で周知する。⑦地域交流に加え、介護や治療についての情報提供や、医療的な相談や講座を開催する。⑧職場の理解が重要なため、区内企業に対する介護保険制度の周知方法を検討していく。⑨保険料負担に配慮し、収支バランスを見きわめる。

大井町のまちづくりについて ①JR広町社宅跡地のまちづくりを中心に、大井町周辺全体のまちづくりビジョンを策定しては。②JR東日本との今後の検討スケジュールは。都市環境部長 ①都およびJRと調整し、具体的なまちづくり方針を策定する。②平成32年以降に本格的な着工をめざすと聞いている。

防災・減災対策の強化について ①系魚川市の大規模火災を教訓にした今後の対策は。②まちかど消火栓について⑦町会・自治会への配備の検討状況等は。①しながわ防災体験館に装置を配備し、普及啓発を。③ブロック塀の倒壊対策について⑦防災緑化助成制度の周知徹底を。①危険なプロットの撤去等の指導を。区長 ①耐火性能の低い建物への支援の拡大を図る。②助成金を新設し、防災資器材の充実を支援する。③装置を館内に展示し、周知を図る。④7利用促進を図っていく。①取り組みを一層進めていく。

道路の無電柱化について ①区道の無電柱化に対する都の支援とは。②都の助成制度の積極的な活用に向けた(仮称)品川区無電柱化推進計画を早期に策定しては。防災まちづくり部長 ①狭い道路の無電柱化整備に向けて、財政支援を拡充するもの。②今後都から示される補助要綱を確認し検討していく。子育て支援の充実について ①待機児童解消の見直しは。②認可外保育施設への保育料助成制度が3年間の限定的措置となったが、3年後の助成継続の考え方は。③都の助成制度を活用して、一般不妊治療費助成の更なる拡充等を。④子ども医療費助成を行う自治体に対する国庫負担金の減額調整が廃止されるが、増額の財源活用の見直しは。子ども未来部長 ①平成30年4月での解消は厳しい状況だ。②3年間は限定的に予算化される都の補助制度を活用する。期間経過後は、利用状況等を勘案し、判断する。健康推進部長 ③新たな都の制度の詳細を確認の上、助成制度のあり方を考えていく。④区民福祉の向上に活用する。

代表質問



飯沼 雅子 議員 (共産)

### 南スダンに戦闘状態を求めよ 安倍改憲に派兵を中止せよ 憲法を壊すことを反対

①立憲主義を壊す安倍改憲に区長は反対を表明しないのか。②なぜ安保法制が違憲か合憲かの見解を示せないのか。区長 ①②外交や防衛といった事項について、一自治体の首長が見解を述べることは差し控えるべきものと考えます。

まち壊しの超高層再開発、放射2号線など道路建設は中止し、災害を未然に防ぐ防災対策を

①地域のコミュニティを壊す武蔵小山駅前の超高層再開発が、災害に強く安全と言えるのか。②放射2号線の道路建設は中止を。③感震プレーカーの設置補助を区内全域に広げては。④まちづくりマスタープランの見直しを。都市環境部長 ①再開発に伴い、道路拡幅をはじめ広場等を配置するとともに、地域コミュニティを生かした防災活動の場をつくる計画だ。②特定整備路線は重要な道路で

あり都に中止を求める考えはない。③まずは危険度の高い地域を最優先に普及に努める。④見直しを行う考えはない。

安倍政権による社会保障制度の先頭に立ち進める福祉切り捨てをやめ、23区で最低の福祉の底上げを

①放課後等デイサービス事業において、区は月の支給決定基準の上限を要綱で10日と定めている。厚労省通知の原則の上限日数である23日まで引き上げを。②日中一時支援事業の利用者負担に、所得に応じた負担上限額を設定しては。③国保料の引き下げと過酷な差し押さえの中止を。④子どもへの貧困対策において、自助努力への支援では貧困から抜け出せないと思うが、見解を。⑤林試の森隣の国有地・公有地は保育園等に活用を。福祉部長 ①法内サービスだけでなく日中一時支援も活用し、放課後活動の場を提供していく。また、要綱における上限という表現は変更する予定だ。②所得に応じた軽減措置のための予算案を本定例会に提案している。③自助努力への支援が基本と考えており、支援策の強化を予定している。④区の考えを都に示し、協議を進めている。

健康推進部長 ③特別区は、保険料が値上がりしないよう努めている。また、差し押さえは被保険者の公平性の観点から適切に対応している。民間任せでなく区立認可保育園の増設で待機児童ゼロの実現を



大倉たかひろ 議員 (民・無)

### シティプロモーションについて

①シティプロモーションの目標は。②PR動画の視聴回数を増やしていくのか。③他自治体の失敗事例の調査も重要では。④現在公開している動画の目的は。⑤広報紙やホームページのデザイン性を上げることも重要では。⑥区が定住してもらいたいと考えられるターゲット層は。⑦シティプロモーションを推進する必要があると考える理由は。⑧区長 ①区に活気と発展を

①学校選択制は中止すべきでは。②小中一貫校と学校選択制の検証を行い、結果を区民に示すべきでは。③区の教育要領の策定にあたり、児童生徒の意見を反映する教育内容等へ転換を。④教員の多忙化の解消を求めるが、見解を。⑤少人数学級の実現を。教育次長 ①7割を超える保護者が選択制を肯定的に捉えている。②各種学力調査等様々な場面で検証してきた。③教員や学識経験者等で検討を重ねていく。④各学校の状況はヒアリング等で把握している。⑤習熟度別少人数指導や教科担任制の充実に努める。

①正しい保育需要を捉えるため、人口推計の見直しが必要では。②今後も積極的な待機児童対策は重要と考えるが所見を。③保育士確保や定着に対する取り組みは。④在宅子育て家庭へ、ベビーシッターのような形態の支援も必要では。⑤在宅子育てをしながら再就職するのは困難だが、

一時保育を活用して就業に結びつけては。⑥医療的ケア児受け入れの課題と方向性は。⑦子どもの貧困対策事業について、積極的な情報発信を。子ども未来部長 ①人口増加は想定以上であり、人口推計の見直しは必要と考えている。②乳幼児人口をエリアごとにきめ細かく予測し、スピード感を持って待機児童対策を推進する必要があると考えている。③児童心理士による研修、やりがいの醸成等を図っている。④他自治体を参考に検討する。⑤利用率が高く、特定利用者の優先は難しい。⑥特別な配慮が必要であり、全ての児童は預かれないが、集団保育での受け入れを検討していく。⑦子育てアプリのほか、子ども食堂フォーラムなどで発信していく。

①小学校で外国語活動が必修となるが、教員の負担にならないための取り組みは。②プログラミング教育に対する区の考え方は。③不登校を早期に解決するための対策とは。④スマートフォンの利用ルール制定や周知等の方向性は。教育長 ①英語専科指導員を各学校に配置している。②論理的に思考して課題を解決

する力を身につけることは、今後重要になると捉えている。③独自の報告基準を設定し、不登校傾向にある児童・生徒の把握に努めている。④各学校で作成したSNSルールをもとに家庭でのルールづくりを進めている。

防災対策について

①災害時に必要となる緊急輸送ルートを確保するため、区独自の方針を作成しては。②妊婦や障害者、乳幼児等の視点で避難所運営マニュアルを作成すべきでは。③避難者カードは簡易なものにし、避難者の負担軽減を。④避難所におけるペットの取り扱いについては。⑤介助犬が必要な避難者への対応は。⑥ペット避難に関する訓練を行っている。

骨髄ドナー登録支援について

①骨髄ドナー登録の周知啓発を進めては。②若い層のドナー登録のため、学校で命の大切さを学ぶ取り組みを。品川区保健所長 ①今後も、関係機関にパンフレットを配布するなど引き続き周知を行っていく。②教育委員会や区内大学等と連携するなど啓発に努めていく。

## 第20回議員研修会を開催しました

平成29年2月7日に「対話がはずむテクニク～議会に必要なファシリテーション～」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長を講師としてお招きし、会議活性化のためのファシリテートスキル向上を目的とした研修を行いました。



講師 中村 健氏



災害対策担当部長 ①平成29年度に修正する地域防災計画の中で具体化していく。②避難所連絡会議に働きかけていく。③今後、記入方法を工夫していく。④ペットが受け入れられるよう避難所連絡会議に働きかけていく。⑤障害者として合理的な配慮を行う。⑥具体化に努めていく。

代表質問



須貝 行宏 議員 (維・無)

消費が低迷。厳しい家計と企業経営。ならば区民が選んだ議員と区長は身を切るべきでは。

①小池都知事は大勢の都民生活が厳しいことを認識した上で、給与などを半減し、自ら身を切った。そして、都議会議員も20%の給与削減と...

災害危険度が高くなり値上がり続ける地震保険の普及・啓発の推進を

①大地震による大規模災害が起きた時、私有財産のため区民の住宅や生活の再建に対して、区ではほとんど支援できないので、住民は自力で再建するしかない。ならば、大震災によって甚大な被害を受けた兵庫県のよう、区民が大震災により甚大な被害を受けても被災者が困らないように、また自立再建ができるように、区は区民に対して、地震保険加入の普及啓発を強く押し進めるべきだと思うが、見解を。

区長 ①特別職の報酬等は、報酬等審議会において、民間の経済状況や賃金を勘案した上で慎重に審議され、議会の議決を経て条例をもって定められている。また、経費についても必要最小限の経費を予算計上し、執行しているところだ。例えば、区長の給料については、平成17年度、21年度、25年度と3回にわたり特別職報酬等審議会から答申を受け、減額している。また、26年度、27年度、28年度と3回にわたり特別区人事委員会からの増額勧告があったが、品川区では全て増額を見送ってきたところだ。議員定数やその他経費については、区議会の自立性の観点からも、まずは区議会で検討することが適当であると考えている。

災害対策担当部長 ①地震保険については、個人の財産にかかわるもので、加入を判断するのは個人であるため、区では普及啓発を行ってこなかった。しかし、被災者の早期の生活再建につながる一手だてであると考えているため、今後改訂する「わが家の防災ハンドブック」などにおいて地震保険を案内していく。

塾が支える公教育の改善を。「落ちこぼれを無くせ」人工知能先生の活用を。

①今、塾が支える公教育や落ちこぼれの増加が改善できるシステムがようやく開発された。教員の学習指導に対する児童や生徒の理解力は一人ひとり違う。この格差を減らすためにも、子どもたちに標準的な知識や学力などの勉強を教えてくれるAI先生、いわゆる人工知能先生を教育現場に取り入れたらどうか。そうすれば、教員の負担も減らせるし、学習塾に通って補習学習をする子も減らせられると思うが、見解を。②この手法は、現在の学校教育法上問題があるのか。

一般質問



安藤たい作 議員 (共産)

29号線は防災に役立たない道路推進のために大崎図書館をなくすな

①29号線の延焼シミュレーションでは、500棟以上燃える地点が22か所ある。多数の住宅が燃える延焼遮断帯のどこが防災対策なのか。②道路建設のために移転する大崎図書館について③芳水小などに代替施設を設置するというが、現在の大崎図書館と同等の機能と云えるのか。④現地での存続を。⑤29号線を廃止するよう強く求めるが、見解を。

都市環境部長 ①道路整備と道路沿道建築物の不燃化事業をあわせて進めることで、燃えない、燃え広がらないまちが実現すると考えている。③都に廃止を求めるとは考えていない。

教育次長 ②現在と同等の機能を有するものと考えている。①施設の老朽化等の理由から移転をするもので、現地で存続させる考えはない。

北品川・東品川の都営住宅なくすな 超高層ビル開発計画は中止を

①品川駅南地域の開発計画により、北品川や東品川の都営住宅をなくしてもよいと考えているのか。②北品川駅周辺のみならず、従来のまち並みを生かした計画を住民参加で進めるべきでは。③目黒駅前再開発には補助金110億円が交付されるが、わずかな広場と区への譲渡床1千100平米がそれに見合うのか。

①品川駅南地域の開発計画により、北品川や東品川の都営住宅をなくしてもよいと考えているのか。②北品川駅周辺のみならず、従来のまち並みを生かした計画を住民参加で進めるべきでは。③目黒駅前再開発には補助金110億円が交付されるが、わずかな広場と区への譲渡床1千100平米がそれに見合うのか。④現在、品川駅南地域まちづくりビジョンで指定した重点整備地区において、地域の方々に、都営住宅の機能に十分考慮した再開発の検討が進められている。⑤都が行う京急本線連続立体交差化計画にあわせ、地域交流の核となる駅前広場の検討を地域の声を聞きながら進めている。⑥区で行われている市街地再開発事業は、法に基づき、いわゆる法定再開発事業であり、公共性が高い事業となっている。そのため、国の制度や要綱に基づき、区として適正に再開発組合へ補助金を支出している。

本会議・委員会の日程(予定)

Table with columns: 会議名, 日時. Rows include: 第1回臨時会 (5月26日), 第2回定例会 (7月6-7日), 議会運営委員会 (4月28日-7月18日), 常任委員会 (総務, 民生, 建設, 文教), 特別委員会 (行財政改革, オリピック・パラリンピック推進)

区立保育園民営化ではなく、親も保育士も働き続けられるよう、三ツ木、八潮北、八潮西保育園の存続を

①公設公営保育園の正規保育士の平均年齢、平均勤続年数、離職率、手当を含む平均給与は。②保育の質を向上させるため、保育士が長く勤めることのできる公設公営保育園は不可欠では。③区立保育園民営化方針の撤回を。子ども未来部長 ①平均年齢は36・5歳、平均勤続年数は13・4年、離職率は6.4%で、手当を含む平均給与は35万2千円程度だ。②公立園・私立園いずれの保育現場でも子どもを命を預かる責任の重さを自覚し、保育の質の向上に取り組んでいる。③区立保育園の民営化を見直す考えはない。

一般質問



松永よしひろ 議員 (民・無)

児童虐待について

①平成24年に品川区虐待防止ネットワーク推進協議会が設置されたが、区独自のネットワークによって、どれほどの効果が見られたのか。②専用ダイヤル「しながわ見守りホットライン」について、児童相談所との連携等はどうなっているのか。③DVやデートDVの加害者対策として、東京ウイメンズブラザーの活動助成団体と連携することだが、進捗状況は。④区が行っている妊娠・出産・育児の切れ目のない支援は、広い意味での児童虐待予防策かと思いが、サービスの利用状況や利用者の声を踏まえ、今後の課題や充実すべき点は何か。⑤子育ての不安要素の1つに保育園の待機児童問題があるが、今後どのような点に力を入れていくのか。

障害者福祉について

①放課後等デイサービスは、平成24年の児童福祉法改正によって民間企業の参入も可能となり、事業所が急増しているが、現在区に何か所の事業所があるのか。そのうち民間事業所は何か所か。②肢体不自由児や医療的ケアの必要ない児童を受け入れる事業所はあるのか。なければ受け入れに向けて働きかけをすべきでは。③各事業所のサービスをどのように把握し、質の確保を図っているのか。

④区には現在8か所あり、そのうち営利法人が運営する事業所は5か所だ。⑤受け入れている事業所は少なく、新規開設の相談があった際には、このようなお子さんの受け入れについてお話ししている。⑥指導検査のほか、モニタリング時に事業所を訪問し、支援の状況を確認している。

防災対策について

①多くの方に防災訓練に参加してもらうため、ペット同行避難訓練や自衛隊との共同訓練を取り入れるなどニーズに合った内容に変更しては。②災害時要支援者の避難経路を改善していく必要があると考えるが、各防災区民組織で行われている避難誘導ワークショップの実施状況は。③品川区要配慮者支援全体計画で位置づけられている避難支援等関係者以外で、区と協力関係機関になつていないところはあるのか。④企業と連携した合同防災訓練の実施が大切だと考えるが、所見を。⑤避難所に向かう際、特定緊急輸送道路等を横断せざるを得ないエリアはどのくらい存在するのか。

①人命救助や応急救護など、防災上のニーズに配慮するものとするべきだが、より多くの方に参加していただくための工夫も必要と考えている。②今年度は15の町会・自治会が避難誘導の方法や避難ルートの安全確認について訓練を実施している。③現在、協力関係に位置づけられている機関はないが、引き続き福祉部や保健所等と連携を図り、協力関係機関の確保に努めていく。④帰宅困難者対策協議会等による訓練など、引き続き企業と連携した訓練の実施に努めていく。⑤発災時に特定緊急輸送道路等を横断し、避難所に避難することになる方がいる町会・自治会の数は、203のうち51ある。



高橋 伸明 議員 (自・未)

品川道について

①府中の大國魂神社と荏原神社を結ぶ品川道には幾つかのルートがあり、中延には「品川道」と記された貴重な道標がある。旧東海道で行われている地域振興策のように、品川道を起点とした地域振興に力を入れては。②品川道を周知し、観光や地域振興に役立てるため、③外国の方への冊子の作成を。④小中学校で品川道の歴史を紹介しては。

①品川道踏切から大井三叉を通り、荏原神社へ向かうエリアに道標等が点在している。観光振興協議会の部会で観光資源の検討対象として追加し、更なる観光事業の推進に努めていく。②観光事業全体の国際化対応等に合わせ検討していく。③今後の研究課題とする。

点字ブロックについて

①品川区内にも平成13年にJIS規格が定められる以前に設置されている点字ブロックには、内側と外側を区別する線状突起が加えられている。視覚障害者の安全を守るには、健康者の協力が必要だと考えるが、このような事例を啓発するため小中学校でワークショップを行っては。②既に設置してある点字ブロックはおおむね基準どおりとなっているが、規格前のブロックは道路工事等の機会を捉え、順次更新している。③おたがいさま運動の普及啓発事業として、小学校で学習会を実施し、相手を理解する大切さと自分たちに何ができるかを考えるきっかけづくりを行っている。

のか。②分岐点で注意を促す警星ブロックの品川区における設置状況は。③駅のホームに設置されている点字ブロックには、内側と外側を区別する線状突起が加えられている。視覚障害者の安全を守るには、健康者の協力が必要だと考えるが、このような事例を啓発するため小中学校でワークショップを行っては。

都市環境部長

①既に設置してある点字ブロックはおおむね基準どおりとなっているが、規格前のブロックは道路工事等の機会を捉え、順次更新している。③おたがいさま運動の普及啓発事業として、小学校で学習会を実施し、相手を理解する大切さと自分たちに何ができるかを考えるきっかけづくりを行っている。

木密地域の防災について

①不燃化特区地区における、老朽化木造建築物の解体費助成や専門家の無料派遣等、不燃化特区支援制度の利用件数は。②不燃化特区の指定区域外での支援制度の導入をどう考えるのか。③消防水利の設置が難しい木密地域においては、公園等に地上置き型水槽などの設置が必要では。④都市環境部長 ①昨年の解体費助成申請は98件で、これらの方は都税事務所の手続きを行い、税の減免制度を活用していただく。専門家の無料派遣は月平均40件以上の相談を受けている。②密集住宅市街地整備促進事業をはじめ他の施策を並行して進めており、総合的に木密地域の改善を図っている。③消防水利は

4千769か所に設置されており、必要水量は確保されている。④シニアサイクルについて

東京オリンピック・パラリンピックについて

①区内では自転車の違法駐輪が目立っているが、まちの景観や安全な交通の実現のために、区独自のシェアサイクルを実施しては。②パリやロンドンのようなシェアサイクルシステムの導入により、違法駐輪が減り、まちの美化も進むのでは。③外国の方も使える区独自の道案内スマホ用ソフトを開発し、提供しては。④防災まちづくり部長 ①現在、シェアサイクルの社会実験の導入を計画している。自転車の共同利用が促進されれば、放置自転車の解消等にも効果を発揮すると思われる。②しながわ観光アプリ等による案内にわりと全力で取り組んでいく。



防災機能を備えてオープンしたしながわ中央公園拡張部



新妻さえ子 議員(公明)

### シティプロモーション及び プロモーションについて

①しながわ発見出合い事業は、若い世代に新たな出合いの機会と場を提供し、品川に愛着を持ってもらうことを目的としている。この事業を品川区のシティプロモーションとして事業展開しては、②シティプロモーションの一環として品川区オリジナルの婚姻届を作成しては、③全国シティプロモーションサミットが10月にきゅりあんで開催されるが④取り組み状況は、⑤多くの自治体で地域の特徴をアピールする動画が制作されており、品川区も大分県別府市のようなインパクトのある動画を制作しては。

**企画部長** ①旧東海道路周辺や、近代的でおしゃれなスポットなどを舞台に交流イベント等を実施する予定であり、若い世代による品川区の魅力の発見・発信にもなると考えている。②先行自治体の取り組みを参考に、シティプロモーションの観点からも検討していく。③詳細なプログラ

ムは現在検討を進めているところだが、品川区のまちの魅力や全国連携プロジェクト等の取り組みを積極的に発信する内容としていく。④活気ある品川区の多彩な魅力を訴える動画をサミットで披露する。

#### 食品ロス削減について

①しながわECOフェスティバルで食品ロス削減ブースを出展しては、②ホームページで食品ロス削減についての情報を掲載しては、③未利用食品を活用するフードバンク機能の取り組みを進めては。

#### 都市環境部長

①環境課のブースで、食品ロス削減の取り組み等を紹介する予定だ。

②現在もホームページで周知しているが、今後、国や都の取り組み等をより多く掲載していく。③これまでも品川区社会福祉協議会で未利用食品の寄附を受け付け、福祉団体などに提供していたが、寄附者の更なる拡大や様々な分野での活用を検討していく。

#### 障がい者の自立支援につなげる障がい者芸術の取り組みについて

①障がい者の芸術作品を展示するアール・ブリュット展について⑦平成27年と28年に開催されたが、成果は、①29年度は大崎駅周辺で行うことが発表されたが、この地域での開催が決まった経緯は、⑦区役所内で常設展示しては。

#### 福祉部長

①⑦感性のすばらしさ等を評価する声が多く、障害のある方への理解の一助になっていると感じている。

⑩美術館や大きな商業施設があり、展示スペースも確保しやすく、多くの方に作品に触れていただけると考えた。⑪一定のスペースや照明等が必要であり、現状では難しい。

#### 災害時のペットの避難について

①避難所運営マニュアルは各避難所連絡会議において作成するが、ペットの同行避難が具体化されていない避難所が多数存在する。マニュアルの策定が必要では、②区と獣医師会は災害時の協定を結んでいるが、現在具体的に取り組んでいることは、

#### 災害対策担当部長

①ペットの同行避難を受け入れるよう、避難所連絡会議へ働きかけていく。②地区の総合防災訓練で飼い主の心得等について啓発していただいている。

#### 八潮地域の今後について

①昨年の世論調査で、八潮の住民の方が我がまちをどのようになっているのか、その特徴や傾向が示されたが⑦八潮のまちづくりにおける課題とは、①八潮のコミュニティを今後どのように守り育てていくのか。②区制70周年を迎える記念に、八潮の地名を品川音頭に入れては。

#### 区長

①⑦交通や買い物、医療については、やや評価が低いことから、利便性の確保、向上が課題と認識している。

①住民の皆様とともに八潮ならではのコミュニケーションの更なる発展を支援していく。②検討していく。



藤原 正則 議員(維・無)

### 施政方針と財政について

①低迷から抜け出せない経済情勢のもと⑦具体的な歳入の見直しは、①基金の積み立ての見直しは、②平成29年度予算の重点課題の第一に「にぎわい」を位置づけた真意は、

#### 区長

①特別区民税は増収傾向を保っているが、楽観視はできない。①安定的な財源を確保するため、不断の行財政改革を行い、基金への積み立てを行っていく。②オリンピック・パラリンピックの開催を3年後に控え、観光等の事業を進める必要があり、第一の方向性に掲げた。

#### 待機児童対策について

①区の出産数、保育園の申込率、通園率の傾向は、②ここ数年の乳幼児の増加傾向について⑦何年ごろまで続く見込みか。①ピーク後の待機児童対策の方針は、③医療的ケア児の受け入れについて、具体的な検討をしているのか。

#### 子ども未来部長

①出生数、通園率とも増加傾向にある。②⑦ピークは33年以降と見込んでいる。①乳幼児人口が減少する他自治体では、在宅子育て世帯の一時預かり等で保育園が活用されており、中期的にも子育て支援の拡充が必要と考える。③特別な配慮が必要なため、医療や療育

などの関係機関と連携し、集団保育での受け入れの可能性を検討していく。

#### 保育園・幼稚園の今後のあり方について

①公立の幼稚園と保育園は、今後、幼保連携型認定こども園化を進めるのか。②公立保育園の民営化の考え方はこれまでどおりか。

#### 子ども未来部長

①現在のところ設置の考えはない。②5園程度の民営化を計画的に進めていく。

#### 高齢者施設・特養のあり方について

①区の高齢化率はまだまだ伸び、高齢者の生活を支援するニーズも高まると思うが、見解を。②品川介護福祉専門学校卒業生の区内従事者の割合は、③介護福祉士が不足する対策をどう考えているのか。

#### 福祉部長

①特養やグループホーム等、それぞれの介護状態像やニーズに合った施設整備を総合的、計画的に行っている。②区内施設就職率は約94%から97%を推移している。③緊急な課題と認識しており、遠隔地からの人材確保支援等を実施している。

#### 委託事業の業者変更について

①品川児童学園の指定管理者が変更となるが、引き継ぎは順調なのか。②福祉分野のように人的サービスのウェイトの高い事業では、事業者がかわる場合どうあるべきか。

#### 福祉部長

①研修の実施等、円滑な引き継ぎを行っている。②利用者が安心して支援を受けられることが大切であり、継続性が重要であると考えている。③区と委託事業者の保

#### グローバルスタンダードについて

①近年のオリンピック・パラリンピックを秋に開催する。②スポーツ振興事業は、大会後も継続していく。

#### 文化スポーツ振興部長

①29年度のオリンピック・パラリンピック事業の柱は何か。②啓発事業は継続していくことが肝要では。

#### 文化スポーツ振興部長

①引き続き国や都の動向を注視し、即応できるように準備している。

#### 総務部長

①引き続き啓発と教育の推進に努める。

#### オリンピック・パラリンピックについて

①引き続き啓発と教育の推進に努める。



国の特区制度を活用し公園内に設置された「まなびの森保育園西大井」



### 老朽建築物の除去について

松澤 利行 議員 (自・未)

ないまち・燃え広がらないまちづくりを進めていく。

#### 補助29号線について

①補助29号線は災害時の延焼遮断帯、避難・救難路として早期に完成させたい路線だと思いが、現在の進捗状況は、

②東急大井町線立体化について⑦まちづくり検討調査業務の内容は、①29号線と同じ頃に完成するのか。③戸越公園駅の北側と南側の街区では、

補助29号線幅と戸越公園駅の高架化にあわせて再開発が計画されており、南側では準備組合ができていてと聞くが、早く認可して高層化を進め、従前居住者が優先的に入れる住居をつくっては。

#### 都市環境部長

①都では関係権利者との交渉を進めており、用地取得率はおおむね5%と聞いている。区も早期完成をめざし、都と連携して取り組んでいく。②都が行う戸越公園駅付近の立体化の調査検討にあわせ、関連する駅前広場等の整備について調査検討をするものだ。③スケジューリングは立体化の手法が明らかになった段階で検討される。④戸越五丁目19番地区市街地再開発準備組合では、平成29年度の都市計画決定に向け協議を進めており、その施設計画では、道路事業により移転される方々の受け皿となる住宅供給の考えが示されている。

#### 地域での防災力の強化について

①しながわ中央公園に完成した防災広場で、区と消防署

との共催による区民消防隊のC級ポンプ、ミニポンプ隊の操法大会を開催しては。②消防団員が1人もいない町会がある。地域の防災力強化のためには、装備の充実とともに地域のきずな強化が必要だと思いが、見解を。

災害対策担当部長 ①操法大会で競うよりも、地区総合防災訓練などにおける操法披露を通じ、練度向上を図ることが望ましいと考えている。

②町会・自治会員の入団による消防団との連携が重要であると考えており、様々な機会を捉え、積極的に消防団入団への啓発をしていく。

#### 用地の取得について

①密集住宅市街地整備促進事業に指定されている地域は要件が合えば、国や都の補助金を使って防災広場をつくることができる。事業を更に進め防災広場の取得を。②国家公務員宿舎小山台住宅跡地について⑦区は取得を希望しているが、どのような行政需要に応えようとしているのか。⑧東側部分を取得し、小山台小学校を移転しては。また、現在の小山台小学校の用地は高層化が可能であり、将来、有益だと思いが見解を。

#### 企画部長

①今後も地元との意見交換等を通じて災害に強いまちづくりを進めていく。②福祉施設や子育て施設は、用地の確保が困難であることから、そうした施設の設置を基本としながら、地域の方も集える場等も視野に入れ、検討を行う。④実現には困難な面も多いものと考えている。



つる伸一郎 議員 (公明)

### 小山台の国家公務員宿舎跡地活用について

①旧小山台住宅沿いの歩道は幅が狭く急傾斜なため、早急に土地を取得し、歩道の拡幅を。②区が取得を希望している5千平米の活用について都との協議の状況は。③宿舎の解体工事における安全対策等について、関係機関との連携を求めているが、見解を。

#### 区長

①幅員6メートルの防災生活道路に位置づける方向で進めており、早期実現に向けて国や都と用地取得に向けた協議を行っている。②昨年設置された土地利用計画検討会で、区は福祉施設や子育て施設を基本としながら、地域の方々も集える場も視野に入れていく旨を示した。③都と連携し、工事中の安全確保に向け国に申し入れていく。

#### 区民の命を守る情報発信について

①私立保育園や高齢者施設等における緊急地震速報システムの設置状況や緊急地震速報の入手方法を把握しては。②区主催の行事等で避難誘導の事前案内を徹底し、共催団体等にも実施を呼びかけては。危険管理担当部長 ①施設におけるシステムの設置状況や情報の入手方法を把握し、整備促進に努めていく。②区主催の行事等では、避難誘導

の事前案内を行っている。引き続き実施するとともに、共催団体等にも働きかけていく。

救命率の向上につながる救命体制の構築について

①区有施設と民間施設のAEDの設置状況は。②24時間誰でも使用できるAEDの設置数は。③AEDの設置場所が確保されていない地域は。④コンビニエンスストアや公衆浴場などにAEDの設置助成を検討しては。⑤生活安全サポート隊の車両にAEDを搭載していることを周知するステッカーを掲示しては。⑥施設等におけるAEDの設置位置について、周知の強化を。⑦大人がいなくても救える命を増やすため、水戸市のジュニア救命士の養成講座を参考に、既存の実習を強化させては。

#### 健康推進部長

①区有施設は222台、民間施設は810台だ。②警察署、交番、消防署の計34か所に設置されている。③住宅街では公共施設や事務所などが少ないため、AEDの設置が進んでいない。④コンビニエンスストアへの設置は、フランチャイズチェーン店における管理や運用方法などに課題があり検討が進んでいない。公衆浴場への設置につい

ては、助成の手法を具体的に検討していく。⑤先日、AED設置のステッカーを車体に掲示した。⑥わかりやすい案内方法を工夫する。

教育次長 ⑦ジュニア救命士の認定証を出す予定はないが、しながわ防災体験館や防災訓練等におけるAEDを用いた実践的な機会に子どもたちの参加が増えるよう、各校へ積極的に呼びかけていく。

ホースセラピーについて

①大井競馬場では都立の特別支援学校の生徒を招待し、馬とのふれあい事業を実施している。特別支援学級の児童・生徒や障がい者の社会福祉法人等にも事業への参加を呼びかけては。②障がいの改善にも効果があると言われている

ホースセラピーや乗馬療育を実施しては。

福祉部長 ①事業の受け入れ枠等があると想定されるので、どのような連携ができるか検討していく。②まずは馬とのふれあい事業に多くの事業所が参加できるように検討していく。

医療的ケア児の保育について

①近年増加している医療的ケア児を、利用者・保護者目線で支える体制づくりが求められている。区立保育園での受け入れの必要性について、所見を。

子ども未来部長 ①医療療育などの関係機関との協議・連携に加え、保育技術の向上を図り、集団保育での受け入れの可能性を検討していく。



品川区制70周年記念式典

一般質問



木村 けんご 議員 (民・無)

高齢者や障害者等に優しいまちづくり、バリアフリーの進捗状況について

①現在、具体的にどのような箇所で行おうとしているのか。②社会参加を困難にしているバリアを除去することで、高齢者や障害者等の自立した生活を確保し、医療費増加に歯止めをかけるには、③区内の歩道や建物等、ある程度納得ができるバリアフリーになるには、どれぐらいの時間がかかるのか。④高齢者数の増加によって、70歳以上の人が使った医療費の総額は前年度比で2.9%も増加したと発表されたが、どのような施策を講ずれば⑤医療費削減が可能になるのか。⑥区民の健康を守っていきけるのか。⑦私たちが取り巻く環境が、健康者に合わせるのではなく、高齢者や障害者に合わせていくことで、真に人に優しいまちづくりになるには、⑧環境や地域に合わせた区独自のバリアフリーがあってもよいのでは。

①現在、具体的にどのような箇所で行おうとしているのか。②社会参加を困難にしているバリアを除去することで、高齢者や障害者等の自立した生活を確保し、医療費増加に歯止めをかけるには、③区内の歩道や建物等、ある程度納得ができるバリアフリーになるには、どれぐらいの時間がかかるのか。④高齢者数の増加によって、70歳以上の人が使った医療費の総額は前年度比で2.9%も増加したと発表されたが、どのような施策を講ずれば⑤医療費削減が可能になるのか。⑥区民の健康を守っていきけるのか。⑦私たちが取り巻く環境が、健康者に合わせるのではなく、高齢者や障害者に合わせていくことで、真に人に優しいまちづくりになるには、⑧環境や地域に合わせた区独自のバリアフリーがあってもよいのでは。

④見守り活動を行っていたら、町会・自治会の方々も高齢化してきている。若い人たちに町会・自治会に積極的に協力していただくためには、どのような策があるのか。 福祉部長 ①高齢者数は増加傾向にあり、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯は増加する見込みだ。②高齢者見守りネットワーク事業では、見守りが必要な方を対象としており、年齢要件を設ける必要はないと考えている。③日ごろからの見守りが大切であり、速やかな「気づき・予防・発見」を行うことで、孤立死の未然防止につながる。④新規事業や加入促進への助成等の支援を強化しており、担い手候補の発掘につながるよう、引き続き努めていく。

健康マージャンと高齢者の健康について ①本区では福祉事業の一環として、いきいき健康マージャンを開催しているが、将来的な展望は。②健康マージャンは認知症予防などに効果があると言われている。多くの区民が参加できるように、地域センター等の施設での開放や用具の提供などを考える必要があるのでは。 福祉部長 ①高齢者の社会参加や仲間づくりは重要な。日本健康麻将協会や長寿社会文化協会との共催であるため、協会等と協議の上、検討していく。②現在、健康マージャンは区有施設5か所、13コース行っており、用具は協会から提供してもらっている。



沢田 洋和 議員 (自・未)

主権者教育のあり方と若者の政治意識向上について

①平成28年参院選で18歳選挙権が適用されたが、若者の投票結果をどう分析しているのか。②小中学校での主権者教育について③実施状況は。④区議会議員と生徒が意見交換をする等の取り組みを行っている。⑤まずは自分が住まわちを知ることが重要では。⑥若者の政治意識向上を図るため、学生団体等との連携を深めては。⑦親子同伴で投票所へ足を運ぶことを推奨しては。⑧今後の主権者教育のあり方について見解を。 選挙管理委員会委員長 ①品川区の新興権者の投票率は60・86%と高く、若者の政治参加の高まりが裏づけされた。②連携の可能性を探っていく。③学校での出前選挙や選挙の際に啓発していく。 教育長 ④7市民科では、身近な社会に関心を持ち参加することの大切さを学習している。⑤1研究課題と考えている。⑥まちについて調べる学習を進めている。⑦子ども自身が身近な地域を学びの題材として取り上げ、解決しようとする力を養うことが、主権者教育にも資すると考える。

①10月に品川区で開催される、全国シティプロモーションサミットと自治体間交流の促進について ②10月に品川区で開催される、全国シティプロモーションサミットにかけ、区長の意気込みは。③シビックプライドを醸成していくための取り組みは。④サミット開催期間と連動する形で、しながわ観光フェアを行い、訪れている自治体関係者に品川区の魅力を知っていただければ。⑤サミットを機に、より一層の自治体間交流の促進を図っては。 区長 ①サミットを主催するにあたり、品川区ならではの特色と魅力を全国に発信する場として活用していく。②シティプロモーションの活動を通じて、地域への誇りと愛着を高めていく。③連携して開催することで、より一層の事業成果を出せるよう工夫していく。④80近くの自治体と交流・連携を進めている。

地域振興部長 ①報道はもとより、商工相談員や区内産業関係団体等からの情報収集に努めている。②29年1月未現在、貸しオフィスは満室、オープンラウンジの会員は個人・法人合わせて12会員となっている。③効果的な連携を研究していく。④新たなイノベーションを生む拠点都市として品川区をPRしていく。⑤様々な場面で情報提供等に努めていく。 地域振興部長 ①報道はもとより、商工相談員や区内産業関係団体等からの情報収集に努めている。②29年1月未現在、貸しオフィスは満室、オープンラウンジの会員は個人・法人合わせて12会員となっている。③効果的な連携を研究していく。④新たなイノベーションを生む拠点都市として品川区をPRしていく。⑤様々な場面で情報提供等に努めていく。



大森駅水神口に開設された地下機械式駐輪場

### 意見の分かれた議案(平成29年第1回定例会)

全議員の賛否については、ホームページに掲載しています。

| 件名   | 自・未<br>(12) | 公明<br>(8) | 共産<br>(7) | 民・無<br>(6) | 維・無<br>(3) | ネット<br>(2) | 無所属<br>議員<br>(1) (1) | 結果 |
|--|-------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|----------------------|----|
| 平成28年度一般会計補正予算   | ○※10        | ○※7       | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成28年度国民健康保険事業<br>会計補正予算   | ○※10        | ○※7       | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成28年度介護保険特別会計<br>補正予算   | ○※10        | ○※7       | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成29年度一般会計予算   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成29年度国民健康保険事業<br>会計予算   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成29年度後期高齢者医療特<br>別会計予算  | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成29年度介護保険特別会計<br>予算   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 平成29年度災害復旧特別会計<br>予算   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 情報公開・個人情報保護条例  | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 行政手続における特定の個人を<br>識別するための番号の利用等に<br>関する法律に基づく個人番号の<br>利用および特定個人情報の提供<br>に関する条例                     | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ×          | ○                    | 可決 |
| 職員定数条例   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 一般職の任期付職員の採用に関<br>する条例   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ×          | ○                    | 可決 |
| 非常勤職員の報酬および費用弁<br>償に関する条例  | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 職員の給与に関する条例  | ○※11        | ○         | ○         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 区立在宅サービスセンター条例   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 指定地域密着型サービスの事業<br>の人員、設備および運営の基準<br>等に関する条例  | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 指定地域密着型介護予防サー<br>ビスの事業の人員、設備および<br>運営ならびに指定地域密着型<br>介護予防サービスに係る介護<br>予防のための効果的な支援の<br>方法の基準等に関する条例 | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 幼稚園教育職員の給与に関する<br>条例   | ○※11        | ○         | ○         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 学校教育職員の給与に関する<br>条例  | ○※11        | ○         | ○         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 国民健康保険条例   | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |
| 教育委員会教育長の任命同意<br>について  | ○※11        | ○         | ×         | ○          | ○          | ○          | ○                    | 可決 |

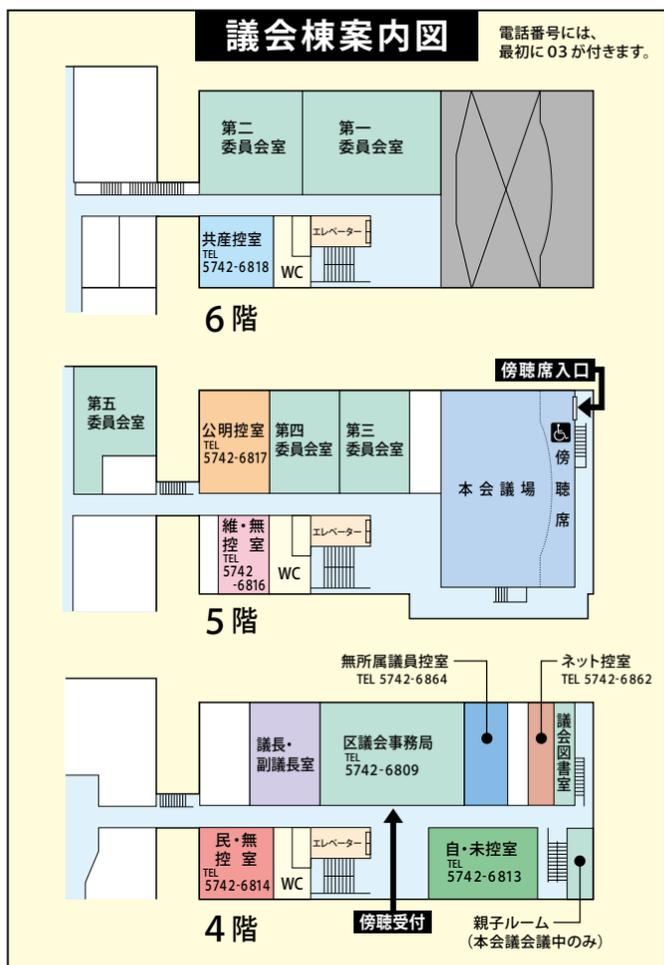
○…賛成、×…反対、(数字)は所属議員数 ※数字は議決にかかわった議員数  
無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

### 請願・陳情の結果(平成29年第1回定例会)

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。

| 付託委員会      | 請願・陳情件名   | 受理番号         | 結果※  |
|------------|---|--------------|------|
| 総務委員会      | 米海兵隊輸送機MV22 オスプレイの配備撤回等に関する請願   | 平成29年請願 第2号  | 不採択  |
|            | 品川音頭の歌詞に「八潮」を加えていただくことに関する陳情  | 平成29年陳情 第1号  | 採 択  |
| 厚生委員会      | 国保料引下げと過酷な差押え中止を求める請願   | 平成29年請願 第3号  | 不採択  |
|            | 受動喫煙防止条例の早期制定に関する陳情   | 平成28年陳情 第5号  | 継続審査 |
|            | 品川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情  | 平成28年陳情 第6号  | 継続審査 |
|            | 東京都品川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情                                       | 平成28年陳情 第7号  | 継続審査 |
|            | 品川区における受動喫煙防止に関する陳情   | 平成28年陳情 第8号  | 継続審査 |
|            | 精神障害者も心身障害者医療費助成制度(マル障)の対象とすることについての陳情                                  | 平成29年陳情 第2号  | 趣旨採択 |
| 建設委員会      | ライドシェア・白タク合法化反対の意見書採択を求める請願   | 平成29年請願 第1号  | 趣旨採択 |
|            | 区民住宅「ファミリー下神明」の家賃助成に関する陳情   | 平成29年陳情 第3号  | 継続審査 |
| 文教委員会      | 保育所職員に対する処遇改善に関する陳情   | 平成28年陳情 第13号 | 不採択  |
| 行財政改革特別委員会 | 羽田空港の増便計画による品川・八潮上空の飛行中止を求める請願  | 平成27年請願 第14号 | 継続審査 |
|            | 大型旅客機が品川区上空を飛行することに反対するよう求める請願  | 平成27年請願 第15号 | 継続審査 |
|            | 大気汚染と環境破壊を進める大型旅客機が品川区上空を飛行することに反対する請願                                  | 平成27年請願 第16号 | 継続審査 |
|            | 羽田空港の増便により大型旅客機が品川区上空を飛行するルート案の撤回を求める請願                                 | 平成27年請願 第19号 | 継続審査 |
|            | 羽田空港増便にともなう品川区上空への新飛行ルート設定に反対する請願                                       | 平成27年請願 第20号 | 継続審査 |
|            | 羽田空港増便計画による「航空機の都心飛行、品川上空の低空飛行ルート計画」を強行しないよう求める請願                       | 平成28年請願 第7号  | 継続審査 |
|            | 住民の理解が得られない中、平成29年度予算概算要求に、新ルート費用を入れないよう品川区として政府に求める請願                  | 平成28年請願 第8号  | 継続審査 |
|            | 国土交通省の羽田空港増便計画による「航空機の都心飛行、品川低空飛行ルート計画」の白紙撤回を求める請願                      | 平成28年請願 第18号 | 継続審査 |
|            | 羽田空港機能強化による品川区低空への新飛行ルートについて、品川区、都が独自に説明会を開くことに関する請願                    | 平成29年請願 第4号  | 継続審査 |
|            | 国土交通省の首都圏空港機能強化による羽田空港増便の環境と住民の健康への影響について、品川区、東京都と国土交通省が調査・検証することを求める陳情 | 平成28年陳情 第11号 | 継続審査 |
|            | 住民の不安を受け止めて環境影響評価の実施を求める陳情  | 平成28年陳情 第12号 | 継続審査 |

※採択(区議会として、ご希望に賛同します。) 趣旨採択(区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 不採択(区議会として、ご希望に賛同しかねます。) 継続審査(区議会として、引き続き慎重に審査します。)



### 全国の地方議会が品川区を視察(平成28年度)

議員は、議会活動や政策立案等に役立てるため、先進自治体の様々な事業について調査を行います。平成28年度は全国から47件の視察を受け入れ、品川区が進める特色ある施策を視察していただきました。

| 月   | 来訪数 | 自治体名                                      | 主な視察項目                                   |
|-----|-----|---|--|
| 5月  | 9件  | ・伊勢市議会教育民生委員会<br>・岡崎市議会児童生徒安全対策特別委員会 他    | ・小中一貫教育<br>・しながわ子育て応援歌                   |
| 6月  | 1件  | ・豊田市議会会派                                  | ・学校跡地を利用した複合施設                           |
| 7月  | 4件  | ・橿原市議会文教常任委員会<br>・瀬西市議会総務生活委員会 他          | ・小学校における英語教育<br>・公共施設有効活用プラン             |
| 8月  | 11件 | ・姫路市議会厚生委員会<br>・高松市議会会派 他                 | ・要介護度改善ケア奨励事業<br>・産業支援交流施設SHIP           |
| 9月  | 1件  | ・徳島県議会会派                                  | ・しながわネウボラネットワーク                          |
| 10月 | 4件  | ・板橋区議会防災・減災対策調査特別委員会<br>・武雄市議会議会改革特別委員会 他 | ・しながわ防災体験館<br>・議会改革の取り組み                 |
| 11月 | 5件  | ・大垣市議会子育て支援日本一対策委員会<br>・周南市議会教育福祉委員会 他    | ・しながわパパママ応援アプリ<br>・すまいるスクール              |
| 12月 | 3件  | ・練馬区議会会派<br>・飯田市議会会派 他                    | ・育休明け入園予約制度<br>・リニア時代を見据えた観光政策           |
| 1月  | 6件  | ・流山市議会会派<br>・大阪府市市政改革特別委員会 他              | ・町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例、市民科<br>・防災タブレット |
| 2月  | 3件  | ・富士市議会会派<br>・三木市議会会派 他                    | ・小中一貫教育および保幼小の連携<br>・ヘルスケアタウンにしおおい       |
| 計   | 47件 | —   | —  |



予算特別委員会を  
設置

2月24日の本会議において、予算特別委員会を設置し、平成29年度各会計予算および平成28年度各会計の補正予算の審査を付託しました。

引き続き委員会を開会し、委員長、副委員長および理事を選出しました。

- ▽委員長 本多健信
- ▽副委員長 新妻さえ子  
鈴木ひろ子
- ▽理事 田中さやか

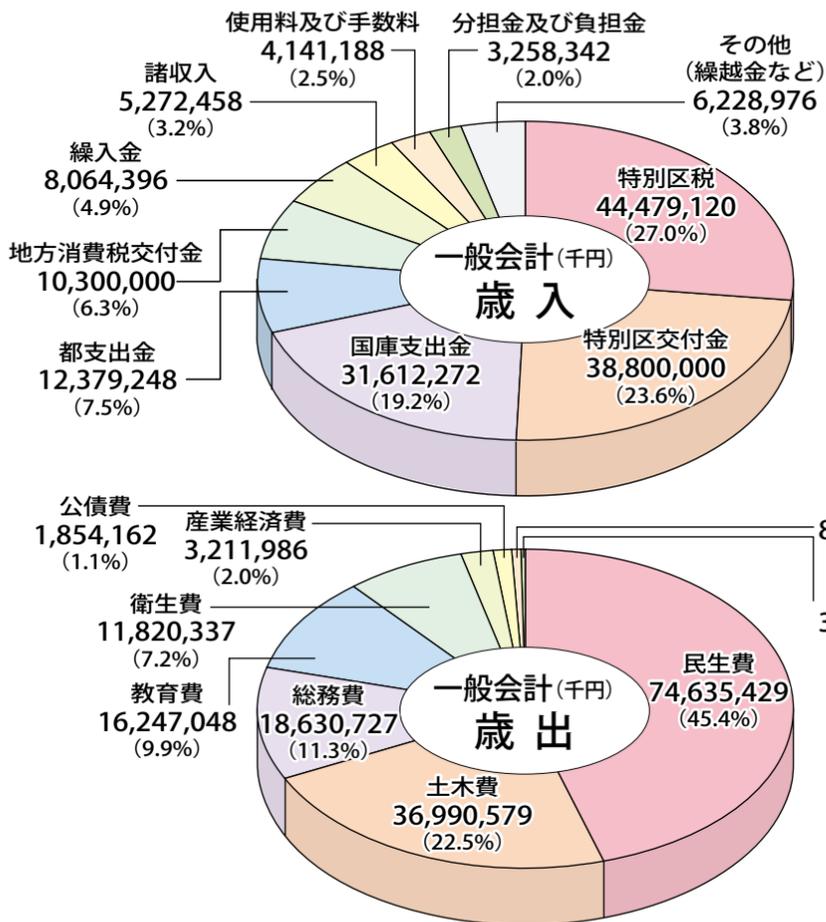
予算審査のあらまし

委員会は3月6日に、平成28年度の各会計補正予算の審査を行いました。同日採決を行なった結果、一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険特別会計は賛成多数で、後期高齢者医療特別会計は全会一致で可決すべきものと決定しました。3月7日からは平成29年度予算の審査に入り、各会計補正予算と合わせ計8日間審査が行われました。

平成29年度予算の概要

(単位：千円)

| 会計          | 予算額         | 前年度当初予算額    | 伸率     |
|-------------|-------------|-------------|--------|
| 一般会計        | 164,536,000 | 167,898,500 | △2.0%  |
| 国民健康保険事業会計  | 44,269,820  | 44,574,294  | △0.7%  |
| 後期高齢者医療特別会計 | 7,932,711   | 7,638,131   | 3.9%   |
| 介護保険特別会計    | 24,939,418  | 23,681,481  | 5.3%   |
| 災害復旧特別会計    | 1,500,000   | —           | 29年度から |



平成28年度補正予算

一般会計補正予算は、総額4億7千640万6千円を減額し、最終予算額を1千707億5千320万4千円としました。主な内容は、歳入は、地方消費税交付金・特別区税等の増、国庫支出金等の減であり、歳出は総務費等の減、土木費等の減です。

| 会計              | 補正額(千円)  | 最終予算額(千円)   |
|-----------------|----------|-------------|
| 一般会計補正予算        | △476,406 | 170,753,204 |
| 国民健康保険事業会計補正予算  | △28,620  | 44,545,674  |
| 後期高齢者医療特別会計補正予算 | 110,222  | 7,748,353   |
| 介護保険特別会計補正予算    | 202,696  | 23,888,042  |

予算特別委員会  
総括質疑

予算特別委員会の8日目に、各会派を代表して10人の委員が、各会計歳入歳出予算の全般にわたって総括質疑を行いました。以下、概要をお知らせします。

渡部 茂 委員(自・未)

- 働き方改革について
- 子育て支援について
- 義務教育学校について
- 学習指導要領について
- 勉強合宿について
- コミュニティ・スクールについて
- 認知症支援について
- 東芝病院について

石田 秀男 委員(自・未)

- シティブロモーション(シビックプライドの定着等)について
- 広町再開発(庁舎建設に関する区の所見等)について
- 区有施設の使用料(減免規定の統一等)について
- 中学校の部活動について

あくつ 広王 委員(公明)

- トイレの洋式化について
- 女性が使いやすいトイレについて
- 地域共生社会の構築について
- 支え愛・ほっとステーション(今後の推進計画等)について
- 認知症カフェについて
- 子育てと生活困窮について
- 7人権意識の醸成について

塚本 よしひろ 委員(公明)

- 区有施設(公共施設有効活用プラン活用による効果等)について
- 少子化対策(施設整備など対応すべき課題等)について
- 待機児童対策(今後の入園枠確保策、保育士確保に向けた施策の必要性等)について

飯沼 雅子 委員(共産)

- 待機児童対策(入園要望に対する区の考え方、不承諾通知発送後の保護者に対する支援、待機児童数の実態把握と将来予測、入園枠の拡大等)について
- 保育園の民営化(民営化の見直し、公設公営の保育園設置に対する考え方等)について

南 恵子 委員(共産)

- 羽田新飛行ルート(区によるアンケートの実施、墜落・落下物ゼロに向けた対策、過去と比した区の認識の変化、羽田空港の機能強化に関する連絡会開催に向けた区の働きかけ、新飛行ルートに対する区の賛否等)について

いながわ 貴之 委員(民・無)

- ジュニアアスリートの育成・発掘(個人・団体等への助成額・枠の拡大等)について
- 民泊等の宿泊施設(事例等の研究状況、民泊条例制定に向けた区の所見等)について
- 国内外の来訪者に対する熱中症対策について

石田 しんご 委員(民・無)

- ダイバーシティ(ダイバーシティマネジメント等)について
- ワークライフバランス(テレワークなど柔軟な勤務体制の導入、ICTの業務活用等)について
- 観光(品川版サポーターズの設立、体験型観光の推進等)について

須貝 行宏 委員(維・無)

- 教職員の長時間労働(事務職の勤務状況、長時間労働の実態と把握等)について
- 教職員の人事異動(品川区独自の制度の構築、教職員の育成等)について
- 予算の立案(基金積立額の区民に対する還元等)について

田中 さやか 委員(ネット)

- 品川区の保育施策(区がめざす保育の指針の有無等)について
- 羽田空港の増設計画(国交省との協議経過等)について
- 情報公開(請求件数と非公開件数等)について
- 義務教育学校(移行によるデメリットと対策等)について

# 平成29年度 予算に対する各会派の意見表明 (各会派からの原稿どおり) 掲載しています。

## 品川区議会自民党・子ども未来

品川区議会自民党・子ども未来は、平成29年度品川区一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算に賛成します。

平成29年度予算は、水辺資源を活かした事業の具体的推進、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成、町会・自治会活動支援、待機児童対策として1千44人の受け入れ枠拡大、私立認可保育園の開設準備補助、在宅子育て家庭支援、病児保育室の定員拡大、子ども食堂開設・運営補助、児童相談所移管準備、災害復旧特別会計の設置、高齢者生活支援体制整備、成人歯科健診充実、認知症対策

プロジェクト「くるみぶらん」、障害者支援、品川コミュニティスクールの展開など、我が会派が各種団体とのヒアリングや区民の皆さまからお聞きした声を集約し提案した多くの施策が予算化されたことを評価します。

区を取り巻く社会経済環境の変化は早く、複雑化しており、区民生活の向上を目指し、本委員会で我が会派委員が指摘・提案した、シティブロモーションの充実、介護人材確保と処遇改善、病児保育拡充、感染症対策、防災対策、いじめ防止力アップ、J.R.広町社宅跡地有効活用、更なる待機児童対策などを今後の施策に活かされることを要望します。

## 品川区議会公明党

品川区議会公明党は、平成29年度一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算について賛成します。

新年度予算は、区の新たな礎を築くため、まちなぎわい充実や子どもたちの健やかな成長支援、住み続けられる安全・安心のまちづくりの新たな3つの施策の方向性が示され、これまでに会派として提案・推進してきた、危険ながけ・擁壁の改修工事助成や防災資器材整備助成金の創設など、防災対策の強化が図られました。

また、認可外保育施設の保育料助成制度創設や子ども食堂開設支援、産後家事育児支援の拡充などの子育て支援、上天崎特別養護老人ホームの開設や支え愛・ほっとステーションの全区展開などの高齢者福祉の充実など、区議会公明党の提案・要望が数多く予算に反映されたことを評価いたします。

今後は、東京都の新たな施策に対して、必要に応じて補正予算を組むなどの積極的な対応を強く要望いたします。

学校や公衆トイレの洋式化、多子世帯への子育て支援の拡充、区道の無電柱化の促進、保育士や介護士への処遇改善、障がい児の放課後支援の充実など、会派の提案・要望を今後の施策に反映するよう求めます。

## 日本共産党品川区議団

一般会計、国保、後期高齢者医療、介護保険、災害復旧の各会計に反対します。●総予算は2千431億円。その特徴は、区民の命と暮らしを犠牲にする品川上空低空飛行計画を容認。住民を追い出し街を壊す巨大道路や超高層ビル再開発に巨額の税金を投入する一方、福祉切り捨ての予算です。◆「保育園に落ちた」子どもは1千164人。待機児童ゼロへ区立認可保育園の増設、保育士の処遇改善を。区立保育園民営化中止を◆障害児の放課後等デイの利用制限をやめること◆国保料は大幅値上げをやめ、新たな財源で値下げ実現を。最低生活費の差押さえをやめること◆介護保険はサービスの充実

を。事業者の経営安定、介護士の処遇改善のため総合事業の単価引き上げを◆後期高齢者医療の特例軽減の継続を◆統廃合や民間委託を進める公共施設総合計画は中止を◆林試の森隣の国・都用地に認可保育園や特養ホーム、障害者施設などの増設を◆新たに創設の災害復旧特別会計は議会のチェック機能弱める仕組みであり反対◆地域と学校との結びつきを弱める学校選択制は中止を◆濱野区長は毎年自衛隊激励会で挨拶。南スーダンでの自衛隊員の命の危険迫る中、直ちに撤退するよう国に求めること◆過去最高に積立された基金903億円は区民の切実な要望実現に使うよう求めました。

## 民進党・無所属クラブ

民進党・無所属クラブは、平成29年度一般会計予算、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算に賛成します。

平成29年度予算では濱野区長から未来志向な三つの施策の方向性が出され、その積極的な姿勢を評価します。防災対策では災害対策等の充実が示され、区民の生命や財産を守り迅速な救助、復旧の取り組みを評価します。熊本地震から得た新たな課題や教訓を今後の防災対策に反映し、より具体的で実効性に即したものと、区民のさらなる安全・安心なまちづくりに取り組むことを求めます。待機児童

対策では、過去最大数となる受け入れ枠の増加等、積極的な取り組みを評価します。今後も認可保育園の増設を柱に、ベビーシッターの活用等、様々な施策を展開し、待機児童の解消や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりへ向け積極的な取り組みを求めます。東京2020大会の開催に向け、機運醸成やハード・ソフト両面での環境整備の充実を図ること、ネットいじめ対策、不登校対策のさらなる充実、オアシスルームや一時預かりでの、社会との関わりを持つ環境づくり等、我が会派が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受けとめ、予算執行することを強く要望します。

## 維新・無所属品川

維新・無所属品川は、平成29年度の品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各予算に賛成します。

不安定な中国とユーロ圏経済、消費が落ち込む日本経済、保護主義に向うアメリカ経済の中で、欧州・中東の政情不安も加わり世界経済は低迷しています。さて国の経済政策や日銀の金融政策は失敗に終り、景気は落ち込む一方、勤労者の大半は賃上げもなく、逆に円安による物価上昇に消費増税が加わり、区民と区内産業は厳しい負担を強いられています。なかでも年金所得だけの高齢者、非正規雇用者、子育て世帯、若者世代などの低所得者層は、家計負担が増え買い控えや節約に向かったため消費の落ち込みは深刻です。そして経営悪化が続く中小零細企業は、原材料の高騰や消費低迷により廃業や倒産は止まりません。

いま区内には年収300万円以下の低所得者層が約8割もいますので、100億円も予算が残るならその一部でも低所得者層の支援に使って頂きたい。そして大災害に備えた復旧対策、待機児童対策、医療・介護などの支援対策に重点を置き、さまざまな生活支援を拡充して頂きたい。また学校教員の長時間労働を減らし、8時間労働を超える分には残業手当を支給して頂きたい。

## 品川・生活者ネットワーク

2017年度一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算に賛成します。

若い世帯に区の魅力をアピールする一方で、保育園、保健師が不足するなど、政策上の整合性が読み取れません。人を呼び込むことと受入れ態勢の両方を見据えた予算執行を望みます。

障害者福祉計画見直しの年です。現行の計画でめざしてきた「障害者等の生活を地域全体で支えるシステム」がどの程度実現できたかの点検は、数値だけでなくサービスの質も含めて点検・評価することを望みます。

食の安全について、学校給食の放射能測定を評価します。今後も産地ではなく数値で選ぶ姿勢で継続することを要望します。原発事故から6年経った今も事故は収束していません。しかし、国と福島県は自主避難者への住宅支援を打ち切ります。品川区に避難している人々へ支援が継続できるよう、国・東電・福島県へ要望することを望みます。

羽田飛行ルート変更については、国の問題とせず、品川区として反対すべきと主張します。情報公開について、教育委員会の会議内容公開の拡充、議案や委員会資料のHP上の公開等、一歩前進したことを評価します。区民の区政への参加を促すためにも更なる情報公開を求めます。